

深谷市地域防災計画(改訂案)に係るパブリックコメントの実施結果及び対応について

深谷市地域防災計画（改訂案）に係るパブリックコメントの募集は、令和3年11月19日から令和3年12月17日まで実施し、2名の方から1件ずつご意見をいただきました。

寄せられたご意見の概要と深谷市防災会議の考え方を次のとおり公表いたします。

NO.	ページ・該当箇所	意見の概要	深谷市防災会議の考え方	計画の修正
1	医療体制について	<p>深谷市には市立の夜間診療病院が無い。現状は持ち回り制、小児科は常設であるが、すべての市民に24時間対応できる診療体制を備え、その運営の経験を積んでいくことは、結果的に災害時の医療の質を底上げすることになる。</p> <p>今は、夜間に体調不良となっても、どの医療機関が開いているのか、受け入れ可能な症状なのかを自身で判断しなければならず、市民の命が即時に守られる体制になっていない。</p> <p>夜間診療病院の常設設置を強く希望する。</p>	<p>ご指摘のとおり、本市には市立の夜間診療病院はございませんが、災害時の医療体制については、現在、一般社団法人深谷寄居医師会や深谷市薬剤師会等と協定を締結し、相互に連携して傷病者や疾病者への対応を行う体制を整備しているところです。</p>	無し
2	P.20 第4章第1節第1 (2)1931年西埼玉地震 (M6.9)	<p>深谷市は、深谷断層が付近にある等、いつ地震が起きてもおかしくない地理的状況に置かれている。</p> <p>1931年西埼玉地震については、深谷市史により具体の被害や当時の状況等が記述されている。無機的な文章ではなく、90年前に起きた当該地震の災害の記録を少しでも市民に伝えるようなものにしてほしい。</p>	<p>計画の総則では、本市に影響があった主な地震災害について、被害実態等の客観的な情報を掲載しておりました。</p> <p>しかしながら、1931年西埼玉地震については、ご指摘のとおり、発生した災害事象や被害の実態のみならず、深谷市史において、関東地震よりも被害が大きかったこと、また当時の市民の様子に及んで記述されており、本市にとって非常に影響の大きな災害であります。</p> <p>これをふまえ、深谷市史に基づき、被害の実態をより具体的にするとともに、当時の状況、様子に及んで追記することとしました。</p>	有り